

利用者の皆様と職員
そして地域をつなぐ
かけはし



社会福祉法人 山形虹の会
創立30周年記念史
30th Anniversary History



社会福祉法人 山形虹の会 創立30周年記念史

Contents

理事長挨拶……………	3
お祝いのことば……………	5
事業所・部門紹介……………	8
創立30年のあゆみ ……	16
歴代の評議員・役員名簿…	22
30年主な出来事 ……	24
編集後記……………	30

巻頭言

社会福祉法人山形虹の会
創立30周年記念行事実行委員長 井田 智

社会福祉法人山形虹の会は、2025年8月18日に、法人創立30周年を迎えることが出来ました。この間、10周年、20周年記念式典を開催してきましたが、20周年から30周年までの10年間には、大変大きな出来事があり、法人全ての役職員で対応に当たりました。

特に、コロナウイルス感染症対応は、2類から5類になったとはいえ、感染予防対策は引き続き継続しています。この間の具体的な取り組み等は、本冊子にまとめられていますので、是非ご覧ください。

社会福祉法人山形虹の会は、地域に開かれた介護サービス事業を展開し、地域に根差し、地域と連携し、地域の方々から信頼される事業所であり続けるために、何ができるかを検討し、介護の質向上に努めてまいります。

最後に、本事業にご協力いただいたすべての方に心から感謝の意を表します。ありがとうございました。





理念〈かけはし福祉宣言〉

か

家族と一緒に福祉・医療を考える職員を目指します。

利用者・ご家族の願いを把握し、福祉施設に働く職員として責任を自覚し、ご家族と共に福祉・医療を考えます。

け

敬意の心で介護にあたります。

高齢者の人権を尊重した上で身体抑制を廃止し、生活の場としての施設を作り上げるため全職員が努力します。

は

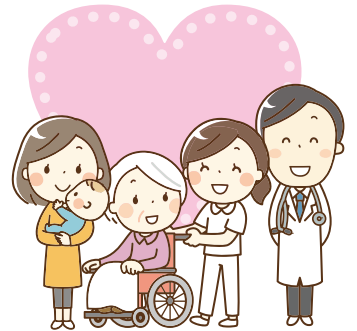
働きがいのある施設にするために努力します。

職員の生活と権利を守ると同時に、より良い施設にするために職員同士協力し、地域住民やボランティアとの協力連携を図ります。

し

社会の矛盾に対して改善を求める運動を行います。

かけはし役職員と共同組織が一体となり、良いものには「良い」悪いものには「悪い」とはっきり言えるようにします。弱いものだけが痛みを感じる社会にはしません。



山形虹の会 沿革

1995 平成7年

8月 社会福祉法人 山形虹の会 設立

1999 平成11年

11月 山形虹の会と福祉を良くする友の会 結成

2000 平成12年

4月 かけはし居宅介護支援事業所開設
グループホームかけはし開設

6月 山形虹の会訪問入浴サービス開始



グループホーム
かけはし1丁目



グループホーム
かけはし2・3丁目



山形虹の会
訪問入浴サービス

2012 平成24年

12月 特別養護老人ホームかけはし開設
ショートステイかけはし2号館開設



特別養護老人ホームかけはし
ショートステイかけはし2号館

1995
1996
1999
2000
2004
2007
2012
2021

1996 平成8年

4月
・老人保健施設
かけはし開設
・デイケアかけはし
営業開始



老人保健施設かけはし

2004 平成16年

10月
ショートステイ
かけはし 開設



ショートステイかけはし

2007 平成19年

7月 認知症対応型通所介護
デイサービスかけはし 開設

2021 令和3年

7月
グループホーム
かけはし南館開設



グループホームかけはし南館

社会福祉法人 山形虹の会 創立30周年を迎えて

ごあいさつ

社会福祉法人 山形虹の会
理事長 橘 健司



社会福祉法人山形虹の会は、30年前の1995年8月18日に法人の設立、そして翌年4月に老人保健施設かけはしを開設し福祉事業をスタートしました。設立にあたり、医療生活協同組合やまがた、生活協同組合共立社の組合員を中心に多くの方からの寄付金が寄せられ、また地元民田地区の方から土地を寄贈いただき、地域の皆様への福祉サービス提供の第一歩を踏み出しました。以来30年、私たちは地域社会に根差した活動を続けてきましたが、これもひとえに開設から今日に至るまで、利用者様、ご家族様をはじめ地域住民、行政機関の皆様からのお力添えと役職員の奮闘とともに、山形虹の会と福祉を良くする友の会をはじめ、当法人を支えてくださった皆様方のご支援とご協力のおかげであり、心より感謝申し上げます。

さて、30年の歴史を振り返りますと、社会福祉分野において大きな変化がありました。当法人は介護保険制度が始まる4年前1996年に事業を開始していますが、2000年に高齢になり介護が必要な状態になっても、自立した暮らしを続けられるよう社会全体で支え合う仕組みとして介

護保険制度（介護保険法）が創設されました。山形虹の会も介護サービス提供事業者として、地域の要求に応じて居宅介護支援事業所、グループホーム、訪問入浴ショートステイ、特別養護老人ホームなどを開設してきました。しかし、この30年間は決して平坦な道のりではなく、様々な困難を克服してきた末に到達できたものでした。介護保険制度も制度改定を重ね、利用者の負担も増加する一方、法人経営も制度変更への対応に追われる状況が続いています。さらに、2020年からの新型コロナウイルス感染症への対応も困難を極めました。

このように、社会環境の変化は目まぐるしく複雑になり、福祉のニーズも多様化しています。これからも変わり続ける地域住民の生活環境や要求に応え、すべての人々が安心して暮らせる地域社会の実現を目指して、役職員一同一丸となって取り組んでまいります。

結びにあたり、これまでご支援いただいたすべての皆様に深く感謝申し上げますと共に、今後とも変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

社会福祉法人 山形虹の会 創立30周年を迎えて

ごあいさつ

山形虹の会と福祉を良くする友の会
会長 三浦澄雄



社会福祉法人山形虹の会が今年2025年8月に30周年を迎えることになり感慨深い思いでいっぱいです。

設立当時私は医療生協の組織担当として福田晴男さんと一緒に組合員の皆さんから設立のための資金カンパを募り地域を駆け回っていました。そして、役職員や組合員の皆さん、5千人近い人たちから1億円を超える資金が結集され、社会福祉法人山形虹の会の設立となりました。

その後、生協組織でない法人にも、ともにたたかう友の会の組織づくりが提起され1999年11月13日に『山形虹の会と福祉を良くする友の会』の設立のための呼びかけ人会が結成されました。その時の呼びかけ人の人たちは、岩本鉄矢、向後雄大、山中洋、松浦隆、小竹輝弥、斎藤久子、小竹喜恵、船見幸子、太田慶治、井田敬治、鴻池雅夫、佐藤智恵、脇山淑子、宮野ますみ、星野富美子、木村宏嗣、鈴木繁、井上正、滝巖、菅原實の各皆さんが記載されておりました。

また準備会事務局として金山喜久子、平田英士、若林喜久子、佐藤喜映、山中玲子、竹之木進雄二、関幸助、福田晴男の皆さんの名前が載っていました。当時の鶴岡生協そして医療生協の活動を担っ

ていた錚々たる皆さん、そして懐かしいお名前が記載されていました。

虹の会の設立に関係された皆様の、虹の会を支え、そして共にたたかう共同組織・友の会の活動に対する思いをひしひしと感ずることができました。

実質1回目となる友の会総会が2001年4月に持たれ友の会会長に大田慶治さん、副会長に須藤賢三さん石井芳子さんが指名されました。その後2004年に須藤さんが会長になられた後の2008年に須藤さんから、友の会にと、私に声を掛けられ直接活動に参加することになりました。思えば縁があったのかもしれません。

友の会の活動内容はボランティアを中心にした活動で、生活協同組合の組合員活動とは少し趣の違うものですが、これらの活動をいかに広げ、活動する仲間を増やしていくのが引き続き課題なのではないかと思っています。

老人介護施設を主体とした民医連でも特異な経営の中で奮闘している職員の皆さんに、どれだけ寄り添えるかと思っています。

優しい友の会の役員や職員の皆さんに励まされて何とか頑張ることができている毎日です。

社会福祉法人 山形虹の会 創立30周年に寄せて

お祝いのことば

山形県知事
吉村 美栄子



社会福祉法人山形虹の会が、創立30周年の記念すべき日を迎えられたことを心からお祝い申し上げます。

貴法人におかれては、平成8年に介護老人保健施設「かけはし」を開設されて以来、特別養護老人ホームや認知症対応型共同生活介護等を展開され、認知症などで在宅での日常生活が困難な高齢者の方の受入れなど多様な福祉ニーズにきめ細かなサービスで応え、地域の高齢者福祉の拠点として重要な役割を担ってこられました。

これもひとえに歴代の理事長をはじめ、役職員の皆様方のたゆまぬ御努力の賜物であり、30周年という節目を新たな出発点として、橋理事長のもとさらなるサービスの向上に取り組まれることを御期待申し上げます。

さて、団塊の世代がすべて後期高齢者となる2025年を迎え、本県では今年5月に人口が100万人を下回り、人口減少が本格化しています。今後、特に生産年齢人口が減少していくと見込まれる中、団塊ジュニア世代が高齢者となる2040年に向け、地域の高齢者をどのように支えていくかが課題となっています。介護保険事業の持続性を維持しつつ、行政、福祉施設、医療機関などが連携し、高齢者一人

ひとりのニーズに応じたサービスを提供できる体制を各地域において充実されることが重要です。

このため県では、令和6年3月に策定した「やまがた長寿安心プラン」に基づき、高齢者の社会参加や生活支援・介護予防の推進、認知症施策の推進、在宅医療と介護の連携推進、介護の人材確保と生産性向上など、多様な取組みを展開し、福祉・介護の事業者・関係者の皆様とともに、地域包括ケアシステムを着実に深化・推進してまいります。

そして、人口減少の一方で今後も高齢化の更なる進展が見込まれる中、県民が年齢等に関わらず、互いに支え合い、役割と生きがいを持って共に生きる「地域共生社会」の実現を目指してまいります。貴法人におかれては、30年にわたり培ってこられた幅広い知識や経験、地域におけるネットワークを活かし、地域福祉の向上とともに、これらの施策の推進にもお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに、社会福祉法人山形虹の会の今後ますますの御発展と、皆様の御健勝を心から祈念申し上げ、お祝いの言葉いたします。

社会福祉法人 山形虹の会 創立30周年に寄せて

お祝いのことば

鶴岡市長
皆川 治



社会福祉法人山形虹の会が創立30周年という記念すべき節目を迎えられましたこと、心よりお祝い申し上げます。また、長年にわたり地域福祉の向上に尽力されてきた橘健司理事長をはじめ歴代の役職員の皆様に、深く敬意と感謝を申し上げます。

貴法人は、平成7年の設立以来、地域に根差した福祉の担い手として、介護老人保健施設をはじめとする施設介護、通所介護、訪問介護、短期入所などの在宅介護の双方において多様な介護保険事業を展開され、高齢者福祉の中核的な拠点として重要な役割を果たしてこられました。高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、医療機関や地域の関係機関との連携を図りながら、きめ細やかな支援を実践されている姿に、心から敬意を表します。

貴法人の各事業所に共通して名づけられた「かけはし」という名称には、「地域の心のかけはしになりたい」という思いが込められていると伺っております。その名のとおり、福祉と医療、家庭と地域、そして人と人とを結びつける存在と

して、地域の中で確かな信頼と役割を築いてこられました。

高齢化が進展する中、住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる環境の整備は、私たち自治体にとって喫緊の課題となっております。そのような中、山形虹の会におかれましては、多くの高齢者とそのご家族を支えてこられる中で、お一人おひとりの尊厳を大切にし、その人らしい暮らしを支援する姿勢は、地域にとって大きな安心と力になっております。

また、介護サービスの提供にとどまらず、地域との連携や交流を重視される貴法人の姿勢は、共生社会の実現に向けた模範とも言えるものです。

鶴岡市といたしましても、今後さらに地域包括ケアシステムの構築を進めていく中で、山形虹の会の皆様との連携を一層深めながら、誰もが安心して暮らせるまちづくりを進めてまいります。

結びに、社会福祉法人山形虹の会のますますのご発展と、関係者各位のご健勝、ご活躍を心よりお祈り申し上げ、創立30周年のお祝いの言葉といたします。

お祝いの言葉

【全日本民医連会長からのお祝いの言葉】



全日本民主
医療機関連合会
会長

増田 剛

おめでとうございます。平和と人権を脅かすものに敢然と対峙し、「地域の心のかけはしとなって」人々の「生きる」を支え続けてきた珠玉の30年、そして新型コロナへの対応では、ケア労働者としての矜持を発揮され、人間の尊厳を守るために懸命に奮闘されました。今日まで組織を支え発展させてこられた職員と友の会の皆さんに心から敬意を表します。

今世界では、ケアの対極にある凄惨な暴力により無辜の市民の尊いいのちが奪われています。国際法に背く狂気の沙汰です。国内では、大軍拡と大企業優遇の代償として社会保障が削られ、介護従事者の処遇改善は進まず担い手不足が深刻化しています。

いのち第一の政治を実現するために、ケアの視点で社会と政治に働きかけることが必要であり、民医連はその存在意義をかけて行動しなければなりません。

山形虹の会の皆さんが30年の歩みを確信にして、今後も全国を励ますような実践を積み重ねて頂くことを祈念しております。

【創立に関わった方からのお祝いの言葉】



設立準備会メンバー代表
岩本鉄矢

社会福祉法人『山形虹の会』創立30周年おめでとうございます。

1995年頃、老人ホームはどこも満床で、病院の入院待機者も多く、地域の人々、とりわけ医療生協や共立社の組合員からは、新しく制度化された老人保健施設の設立を求める声が大きくなっていました。しかし、当時は協同組合には老人保健施設の設立が認められておらず、その一方で、鶴岡市での老健開設の枠は残り200床となっており、事態を打開する方針の打ち出しが急務となっていました。

その打開策が協同組合陣営の力で、新しく社会福祉法人を設立し、そこが老健の運営を担うことでした。1995年3月31日に運動推進組織の『虹の会』が設立され、そのもとにと設立実務を担う『社会福祉法人山形虹の会設立準備会』がつくられました。準備会会長の菅原實さんは社会福祉法人の勤務経験者であり、その経験をお借りしました。運動推進組織の最大の役割は、基本財産となる1億円の寄付を集めることでした。文字通り鶴岡の協同組合陣営の総力を上げた取り組みで、1996年の年明けまでに約4700人から1億円の寄付を達成しました。駐車場用地を賃借することを条件に寄贈を受けた建物の敷地も基本財産にくわえられ、社会福祉法人の設立が認可されました。

今や老健のみならず、特養、グループホームやデイケア、訪問入浴など幅広く介護事業を担われ、地域の人々の期待を上回る活動を展開されています。

設立準備に関わった者の一人として、心からお祝い申し上げます。

介護老人保健施設 かけはし

一般療養棟



介護老人保健施設かけはし一般療養棟は、介護を必要とするお年寄りの心と身体の自立を支援し、住み慣れた家庭や地域に帰って頂くことを目指す施設です。医師の管理のもと、介護を中心とした医療サービスやリハビリテーションを行っています。

2024年度は23名の利用者様が在宅復帰をされました。自宅に帰るにあたり、ご家族様と情報共有しながら、介護指導を実施しています。利用者様やそ

のご家族様が安心して在宅生活を送れるよう多職種が一体となりサポートしています。

一般療養棟は看護・介護・アシスタントと総勢29名の職員が勤務しています。20代から80代と幅広い年齢層で、パワフルでかつ長年の知識や技術を持つ職員が働く、明るく元気な職場です。利用者様の「ありがどの」の言葉を励みに、日々のケアに力を入れ、質の高い介護を目指し頑張っています。

介護老人保健施設 かけはし

認知症専門棟



介護老人保健施設かけはし認知症専門棟は認知症利用者の生活する場であり、認知症への理解を深めた介護をしています。

認知症と言っても同じ行動や症状はなく一人ひとりにあわせた声掛けや介助が必要で、利用者様と同じ目線に立つ、ゆっくり話す、相手に触れて安心感を与える、歩行や体を動かす機会を設ける、といった4つの原則を心構えにして介護にあたっています。

職員は利用者様の見守りや付き添い、職員同士の声掛けを大事にしており、声掛けのしやすい職場づくりをしています。利用者一人一人の症状にあわせるケアは簡単な事ではありませんが利用者への安全安心の介護を提供できるよう介護、看護、リハビリといった各職種がアイディアを出し合い、今後もより良い認知症ケアができるよう頑張っています。

デイケア かけはし

通所リハビリ



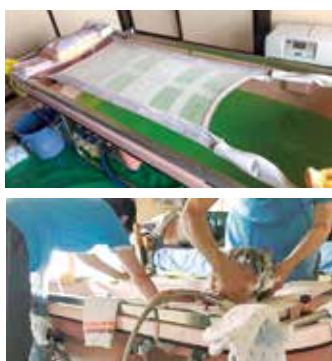
通所リハビリテーションは、利用者様ができる限り自宅で自立した日常生活を送ることができるよう、施設に通い、食事や入浴などの日常生活上の支援や、歯科衛生士・看護師による口腔機能の改善を目指した支援、医師の指示のもと理学療法士によるリハビリを行っています。リハビリの一環で行われるレクリエーション活動では、どこの体の部位に効果的かを説明し日常的に使わない筋肉や関節を動かすことを、ゲーム形式にして行う事によって心身のリフレッ

シュになり気分転換に繋がっています。

毎月の行事では、ボランティアによる歌や踊り、お茶の会で抹茶を立てること、ラーメン屋のラーメンを食べたいという希望に対して、「花鳥風月の出張ラーメン」を呼び食べて頂くなど利用者様が楽しんでいただけるような行事も開催しています。

これからも、利用者様が長く在宅で生活ができるように、また、生活の楽しみになれるように支援していきたいです。

山形虹の会 訪問入浴 サービス



山形虹の会訪問入浴事業では、寝たきりの方や自宅で看取りの方、通所サービスの送迎に不安がある方々に対し、専用の入浴車でご家庭を訪問し、浴槽をご自宅のお部屋の中へ運び、入浴を提供しています。職員は、看護職員、介護職員、オペレーター（機械を操作する職員）と3人1組となりサービスを提供しています。

サービスを提供する地域も幅広く、鶴岡全域、三

川町などへも訪問しています。近くは民田、遠くは鼠ヶ関や小名部まで行った時もあります。訪問入浴サービスは、鶴岡地区には3事業所しかありません。入浴サービスを必要とする方は数多く、なくてはならないサービスだと思います。

これからも、『お風呂に入れて良かった。気持ちいっけ。』と利用者様やご家族様の笑顔を見るために、サービスを提供していきたいと思っています。

グループホーム かけはし



グループホームかけはしは27名定員で1丁目、2丁目、3丁目という3つのユニットによって構成されています。現在の平均要介護度は2.2。入居者様それぞれのできること、日々の食事づくりや掃除、洗濯など、ご活躍頂いております。

やはり、昔取った杵柄で、山菜の茹で方や処理、包丁さばき、布巾やほつれ物の縫い方は私たち職員よりもはるかに上手です。職員が分からないことを入居者様から教えてもらう場面も日常的にみられています。春からは畑仕事が始まりました。収穫時

に、みんなで旬を感じつつ「おいしいね」と言い合えることが目標です。

その他にも、敷地内やご近所の散歩や、トランプ、手作りのパズルなどアクティビティにも取り組んでいます。入居者様のご家族様にも食事やおやつなど差し入れを頂くこと、受診の付添いなどいろいろ支えてもらい、日々感謝の気持ちでいっぱいです。

入居者様が安心して暮らしていける家を守りたい思いで私たち職員はこれからも一緒に頑張っていきたいと思っています。

グループホーム かけはし南館



グループホームかけはし南館（以下、当ホーム）は、2021年7月にオープンした法人内では一番新しい施設です。当ホームは、認知症となっても住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、「共に暮らし、共に支え、共に歩み、共に学ぶ」という4つの理念を掲げ、認知症の学習を通じて、質の高いケアを目指しています。

当ホームで働く職員は、これまで利用者様が歩んできた生活に「敬意」を持ち、そして利用者様の「できることを引き出す介護」を念頭におき、調

理・食器洗い・掃除・洗濯・畑の手入れ・草むしりなど何でもやってもらっています。

最後にアピールポイントをもう一つ。当ホームは、緑深い山々と水田に囲まれた立地にあり、食堂の大きな窓から四季の移り変わりを感じることができます。天気の良い日には、入居者様は外に出たくなりソワソワし始めます。

入居者様と職員と共に、日々の生活を大切にしながら、四季折々の行事を一緒に楽しんでいきたいと思っています。

ショートステイ かけはし



ショートステイかけはしは、退院直後の一時的な利用、介護者様の出張や旅行、介護疲れに対しリフレッシュを目的に短期間利用して頂く施設です。個室に近い居室環境でゆったりと過ごす事ができ、内ドアを開ける事で居室同士をつなぎ、ご夫婦で顔を合わせ過ごして頂く事も可能です。自宅の延長と考え、一人一人に寄り添いご本人様のペースに合わせ過ごして頂けるように、関係職種と協力し合い、ご家族様の様々な状況、ニーズに対応しております。

毎月の行事としてプロジェクターと大型スピーカー

を使い映写会を実施する事で「映画館の様だの～」などと大好評頂いています。

職員同士の関係性では役職や経験年数に関わらず、認め合い、自発性がうまれるように対応する事でやりがいに繋がっています。職員数は14名、職員同士のコミュニケーションが取りやすくチームの結束力が十分にとれています。また、ご家族様とも顔なじみの職員が多く、安心するとの声も聞かれます。

今後も利用者様、ご家族様、職員みんなが笑顔になれるように臨機応変に対応していきたいと思ひます。

介護老人保健施設 かけはし

居宅介護支援事業所



介護保険制度の始まった2000年4月に居宅介護支援事業所として開設しました。

要介護認定者に対して、自宅で自立した生活を送るために居宅サービス計画書（ケアプラン）の作成やサービス調整を行うことが主な仕事です。

当初は介護支援専門員2名の事業所でしたが介護保険制度の改定に合わせ変化していき、現在は5名体制（2024年10月より庄内まちづくり協同組合虹・山形県高齢者福祉生活協同組合の2法人から1名ずつ出向）となり特定事業所Ⅱとして運営しています。

ケアプランやケアマネジメントの質の向上が課題となっており、2006年主任介護支援専門員制度が導入され、2018年度より居宅介護支援事業所の管理者要件が主任介護支援専門員に限るとの方針に変わりました。

利用者様の要求や家族状況も多様化・複雑化している中で、利用者様やそのご家族様にとってなくてはならない存在の仕事です。明るく楽しくにぎやかに相談しあいながら、業務にあたっています。

特別養護 老人ホーム かけはし



特別養護老人ホームかけはしは、全室個室のユニットケア施設で、定員29名の地域密着型小規模特養です。

職員は日々、入居者様を笑顔にすることを目標に、知恵をしばっています。

母の日は手作りのカーネーションをプレゼント、クリスマスは職員によるハンドマッサージなど年間を通じて様々な行事を企画しています。正月行事として行っている「初詣」は、玄関ホールに設置した鳥居の前で拝んだ後、おみくじを引き、甘酒をいた

だきます。職員が手作りした大きな獅子頭を見つけた入居者様は、説明しなくても頭を差し出し、満面の笑顔を私たちにを見せてくれます。介護のすばらしさを感じ、胸が熱くなる一場面です。

看取り介護の場面では、コーヒーが好きな方に「コーヒーで湿らせたガーゼで口の中を拭いてはどうか」とアイデアを出してくれます。

「特養かけはしで良かった」と言ってもらえるよう、これからも全職員で協力していきたいです。

ショートステイ かけはし2号館



ショートステイかけはし2号館は、特養かけはしに併設されており、1ユニット（10床）、特養と同じ個室ユニット型施設で、家庭的な雰囲気の中で過ごしていただけるよう努めています。

介護者様が冠婚葬祭で自宅を留守にする時や、毎日の介護から離れてちょっと息抜きしたい時の短期利用はもちろん、自宅での介護が困難な方の長期利用の受け入れも行っています。また、特養入居までの待機場所としての役割も担っています。

天気の良い日には敷地内のあずまやへ散歩。鳥海山～月山～金峯山の麓に広がる水田や花々が季節の移ろいを感じさせてくれます。室内では、居室で時代劇に夢中になっている方、リビングで相撲観戦されている方、過ごし方も人それぞれです。月1～2回のカップラーメンを楽しみにされている方もいます。

施設に入ってもやりたいこと、食べたい物、暮らしの中に楽しみをもち、その人がその人らしい生活を送れる、そんな施設にできればと思います。

介護老人保健施設 かけはし リハビリ科



介護老人保健施設リハビリテーション科には、理学療法士2名、作業療法士4名、歯科衛生士1名が在籍しており、在宅復帰の強化型老健の位置づけとなっています。利用者様・ご家族様の希望に沿うことはもちろん、ご自宅へ訪問に伺い、住環境を把握することで、より効果的なリハビリを行い在宅復帰につながるよう取り組んでいます。

リハビリ技士は、老健だけではなく、通所リハビリにも専属で配置されており、在宅での生活が継続できるようリハビリを行っています。

また、特別養護老人ホームや生活ショートステイ、グループホームなどでも定期的に利用者様の評価を行い、他事業所・他部門との連携を図ることで、利用者様の身体機能の維持・向上に努めています。

令和2年度からリハビリ科に歯科衛生士が加わったことで、法人全体の口腔ケアに対する意識の向上につながっています。

利用者様とマンツーマンで関わる時間が多いリハビリスタッフだからこそできる、一人一人の思いに寄り添ったケアの提供を行っています。

介護老人保健施設 かけはし 栄養科



食事を提供する栄養科には法人の管理栄養士と委託の調理師が所属しています。開設時は、おやつを除き1日340食程度でしたが、30年経った現在は1日530食ほどの食事提供に増えました。

利用者様から頂く声になるべく食事に活かすよう、調理師と試行錯誤を繰り返し取り組んでいます。一例を紹介すると、数年前のクリスマス前に咀嚼が難しい方から、「フライドチキンにかぶり付きたいが俺は無理だろう」との声に、工夫して、軟らかいフライドチキンを常食そっくりに作りました。クリス

マスの行事食で、要望通りかぶり付けてもらうことに成功し、その利用者様からは「まさか聞いてもらえると思わなかった」と喜んでいただくことができ、栄養科一同やって良かったと感じたことがありました。

おいしく食事を楽しむことは生きるために重要です。個々の得意分野を活かし栄養科一丸となって、利用者様一人ひとりの状況に合った食事になるよう、これからも食事でサポートしていきたいと思います。

介護老人保健施設 かけはし 相談室



介護老人保健施設（以下、老健）の正面玄関を入って右側に、相談室があります。創立当初は、支援相談員は2名でしたが、30周年を迎えた現在は、支援相談員3名、施設ケアマネジャー1名が相談室のメンバーです。他に、介護課長や看護主任、ショートステイ生活相談員のデスクも相談室にあります。

相談室は、相談者と一番はじめに関わる部門で、山形虹の会の「相談窓口」の役割を担っています。「どこの施設に申し込みに行ったらいいかわからない…。」「家では大変になってきた…」などの相

談に、まずは相談者の状況をよく聞いて受け止めるように努めています。そのうえで、老健やグループホームなどの施設の特徴や費用を説明したり、居宅ケアマネジャーを紹介したりしています。老健入所者・ご家族の困りごとには、制度の紹介や関係機関と連携を図り、解決に向けて取り組んでいます。

解決が困難なことも多いですが、みんなで知恵を出し合い、工夫して取り組んでいるところは自部門の誇れることです。これからも「相談の窓口」として、職員全員で丁寧な対応を心掛けていきます。

介護老人保健施設 かけはし 事務課・本部



事務課は介護老人保健施設1階にあり、法人の窓口として明るい挨拶と親切丁寧な対応を行い、皆様に「安心して利用できる施設」と感じて頂けることを目指しています。

業務は多岐に渡り、窓口や電話対応はもちろん、介護保険請求や設備関係、社会保障や共同組織の取り組みの事務局も担っています。

職員は10名在籍し、業務上で課題だと感じたこと等を話し合いながら日々切磋琢磨しています。また、法人内の行事や地域活動にも積極的に参加し、利用者様の笑顔に触れることや地域の皆様の声を直接聞くことで民医連事務職員としての活動の幅を広

げられるようにと考えています。

法人本部には10名の役職員が在籍し、山形虹の会の運営の「要の役割」を果たしています。職員の採用や入職後の相談窓口を含めた労務管理、法人運営にかかわる諸制度への対応や経理業務等を行い、縁の下での力持ちとして法人を支えています。利用者の方やご家族の方に直接かかわることが少ない部門ですが、車椅子や療養部門の掃除といった大切な業務も担っています。地域の方から信頼され、職員が働きやすい法人であり続けられるよう毎日の業務を行っています。

山形虹の会と福祉を良くする友の会



なく会員自身が「生きがい」を感じることができています。これからも、共同組織の力をより強いものにし、誰もが安心して住み続けられる地域づくりのために活動していきたいと考えています。

「山形虹の会と福祉を良くする友の会」は、福祉の充実と山形虹の会の事業を支援することを目的に1999年11月に結成され、2025年4月現在の会員数は3,350名となっています。

毎月の友の会市の開催、ボランティア活動、2か月に1回の「ニュースかけはし」の発行をはじめ、山形虹の会の職員と一緒に地域での署名等、福祉の充実を求める活動を行っています。

コロナ禍を経て再開したボランティア活動では、2024年5月に開催した「ボランティア代表者会議」を機に、多くの団体の方や個人の方からご協力をいただき、利用者の方の生活がより豊かになっていることに感謝しています。

さらに、友の会の活動を通して山形虹の会を支えるだけで

特養かけはし家族会

特養かけはし家族会は次の様な目的で、2015年にスタートして今年11年目を迎えます。本会の目的は次のとおりです。

- 1 特養かけはしの入居者が、より快適に暮らしていけるように知恵と力を出し合う。
- 2 特養かけはしが、その理念どおりに運営され、入居者・家族・会員の願いと気持ちに応えられているか、日常的な点検と意見集約を図る。
- 3 会員の親睦と交流をはかる。

家族会はこれらの目的を果たす為、春には花を植えてプランターを設置したり、テラスのタイルの汚れや苔を取り除く作業を行ったりしております。また、クリスマスプレゼント作成や敬老会の踊り等を企画・実施し、皆さんから好評を頂きました。ここを利用される多くの皆さんが常に気持ちよく過ごす事ができる様、これからも家族会は活動を続けてまいります。



かけはし労働組合



かけはし労働組合は、『離職者を出さない、働き続けられる職場』を掲げ、2011年10月14日に81名の組合員で結成しました。山形県医労連、鶴岡田川地域労連等多くの方々より協力していただきながら、活動しています。

労働組合の結成により、賃金表の作成がなされ、36協定の締結や育休明け職員の夜勤免除等を確保しています。各事業所の現状を法人に伝えながら、賃金だけでなく職場環境等の単組要求の実現を目指し、取り組んでいます。

医療・介護・福祉産業は求められる産業でありながら、労働者の平均賃金は全産業労働者の平均賃金より低く、年々人材確保が難しい状況です。法人との協議のみならず、メーデーや署名・宣伝活動へ参加し国への働きかけを行っています。

かけはし労働組合は、山形県医労連加盟組織の中で数少ない介護福祉施設単組です。

今後も組合員が一致団結し、医療・介護従事者の大幅な賃金・職場環境の改善等、共通の課題に対し、法人と共闘していきたいと思ひます。

創立 30年の あゆみ



技術の進歩とともに歩んできた
介護の現場。

しかし、その根底にあるのは
常に人を思いやる
温かな心です。

1994～2004

1994

(平成6年)

7月・設立準備会発足

- ◆関西国際空港開港
- ◆コメの輸入自由化



開設前研修の様子



第1回かけはしまつり

1994年

1995年

1996年

1997年

1998年

1995

(平成7年)

3月・老人保健施設をつくる虹の会結成

4月・老人保健施設をつくる会幹事会が開催

5月・31日付で95年度の補助事業として国及び県から内示を受ける

6月・13日社会福祉法人設立委員会を発足

7月・12日名称を老人保健施設「かけはし」

113件の応募から、施設を利用する高齢者を中心とした人と人の
かけはし(出会い)と幸せを創りだす願いをかけた。

8月・社会福祉法人山形虹の会設立

4959人からの寄付金1億35万円寄贈された
6612平方メートルの土地を基本財産

◆菅原寛氏が山形虹の会理事長に就任する

- ◆阪神・淡路大震災
- ◆地下鉄サリン事件
- ◆育児・介護休業法が成立

1997

(平成9年)

3月・第1回 全職種症例検討会開催

- ◆消費税税率5%が始まる

- ◆介護保険法成立 (2000年4月実施)



第1回症例検討会



山形虹の会 老人保健施設かけはし 竣工式・祝賀会



開設3か月記念祝賀会



評議員会

2000 (平成12年)

4月・・・かけはし居宅介護支援事業所開設
4月・・・グループホームかけはし開設
6月・・・山形虹の会訪問入浴サービス開始
7月・・・アニマルセラピー実施

- ◆介護保険制度スタート
- ◆BS (衛星放送) デジタル放送スタート



アニマルセラピー

2002 (平成14年)

◆ボランティア交流会開催
11月・・・グループホームかけはし
2ユニット増設、
27人の定員となる

◆「福祉宣言」づくりを全職員・
事業所・部門で完成

- ◆老人医療費1割負担実施
- ◆ゆとり教育スタート
- ◆サッカーワールドカップ日韓共同開催



日常のとある行事

2004 (平成16年)

10月・・・ショートステイかけはし
(定員21) 開設

12月・・・ソフト食の本格実施

- ◆九条の会発足
- ◆新潟中越大地震

1999年 2000年 2001年 2002年 2003年 2004年

1999

(平成11年)

11月・・・山形虹の会と
福祉を良くする
友の会が結成
会員550人で発足

- ◆周辺事態法成立
- ◆労働者派遣法改正、派遣を自由化



2001

(平成13年)

◆関幸助氏が山形虹の会
理事長に就任する

- ◆9.11 アメリカ同時多発テロ発生
- ◆テロ対策特別措置法成立



2003

(平成15年)

◆「介護の安全性」を確保するために
リスクマネジメント委員会が開始

- ◆イラク戦争開始
- ◆道路4公団の民営化決定
- ◆個人情報保護法等が成立



メーデー

2005～2014

2007 (平成19年)

7月・認知症対応型通所介護
デイサービスかけはし開設

10月・介護老人保健施設かけはし
浴室増築

- ◆国民投票法成立
- ◆新潟県中越沖地震発生
- ◆郵政民営化開始

2009

(平成21年)

2月・専用水道整備

◆秋田谷博氏が
山形虹の会理事長に
就任する

- ◆介護報酬改定プラス3%
- ◆裁判員制度始まる
- ◆政権交代（民主党圧勝）

2005

(平成17年)

- ◆郵政民営化法案成立
- ◆介護保険法改悪
(施設入所者の食費・居住費自己負担)
- ◆JR 羽越本線脱線事故



ボランティア交流会

2005年

2006年

2007年

2008年

2009年

2006 (平成18年)

6月・デイケア室にトレーニングマシン導入

◆社会福祉法人山形虹の会創立・老人保健
施設かけはし開設 10周年記念式典・祝賀会

- ◆介護報酬改定マイナス2.4%
- ◆障害者自立支援法実施



創立 10 周年記念式典・祝賀会

2008 (平成20年)

- ◆後期高齢者医療制度施行
- ◆東京・日比谷公園に「年越し派遣村」開設



活動発表会

2011 (平成23年)

7月・施設隣接地(民田字村下地区)に
職員駐車場整備

◆かけはし被災地支援活動報告会

- ◆東日本大震災・福島原発事故
- ◆介護保険改定、介護予防総合事業・
24時間対応複合サービス創設



地域署名活動

2013 (平成25年)

9月・特別養護老人ホームかけはしが、
災害時における福祉避難所の
指定等に関する協定書締結

- ◆TPP交渉参加 ◆マイナンバー法成立
- ◆特定秘密保護法が成立
- ◆楽天イーグルス初の日本一

2014 (平成26年)

(平成26年)

- ◆消費税8%に増税
- ◆医療・介護総合推進法が成立
- ◆政府が武器輸出三原則撤廃
- ◆改憲手続き法強行成立
- ◆集団的自衛権行使の憲法解釈を
閣議決定



平和行進

2010年

2011年

2012年

2013年

2014年

2010 (平成22年)

2月・グループホームかけはし
スプリングラー設備の整備

- ◆日本年金機構発足
- ◆子ども手当法・高校無償化法成立



NPT 再検討会議代表選考会

2012 (平成24年)

4月・特別養護老人ホームかけはし開設
ショートステイかけはし2号館開設

12月・介護老人保健施設かけはし通所リハビリ(定員40人)増築。

- ◆スカイツリー開業 ◆介護保険改定施行、地域包括ケア推進
- ◆社会保障改革推進法成立 ◆地上デジタル放送に完全移行 ◆民医連の介護・福祉の理念発表



山歩きサークル



天神祭り行事



2015～2024

2019 (平成31年・令和元年)

- ◆デイケア定員 40 名の事業所と運営するも過去 2 年間の実績を踏まえ、法人内定員 25 名に縮小し運営
- ◆毎週金曜日を「ノー残業デー」とし、定時退勤を促す取り組み開始
- ◆橘健司氏が山形虹の会理事長に就任
 - ◆新天皇が即位。令和に改元
 - ◆首里城火災
 - ◆消費税 10%
 - ◆全世代型社会保障検討会議発足

2016

(平成28年)

6 月・熊本地震
現地支援

- ◆熊本地震
- ◆集団的自衛権の行使を可能にする安全保障関連法が施行
- ◆18 歳選挙権施行



消火訓練



避難訓練

2015 年

2016 年

2017 年

2018 年

2019 年

2015

(平成27年)

3 月・認知症デイサービス活動休止
9 月・ショートステイかけはし
(定員 31 人) 増設

10 月・山形虹の会 20 周年と友の会
発足 15 周年祝賀会

◆特別養護老人ホーム家族会発足

12 月・ストレスチェック開始

- ◆介護保険法・介護報酬改定 4.48%引き下げ、2 割負担導入
- ◆安全保障関連法強行採決・成立
- ◆マイナンバー制度開始
- ◆生活困窮者自立支援法施行

2017

(平成29年)

9 月・高校生を対象とした
「介護のお仕事体験 &
説明会」を開催

- ◆共謀罪法が強行成立
- ◆森友・加計・日報問題
- ◆介護保険法改定、自己負担 3 割導入

2018

(平成30年)

10 月・法人として初めて
「風水害訓練」を実施

- ◆働き方改革関連一括法成立
- ◆介護報酬改定、0.54%引き上げ



創立 20 周年記念植樹

2020 (令和2年)

- ◆ 1月…介護老人保健施設かけはしが、災害時における福祉避難所の指定等に関する協定書締結
- ◆ 4月…「同一労働同一賃金」の制度変更において就業規則変更(家族手当、ライフサポート休暇等)
- ◆ リスクマネジャー1名体制から2名体制
 - ◆ 新型コロナウイルス感染拡大
 - ◆ 志村けん死去 ◆ 甲子園春夏中止



グループホーム南館建設

2023 (令和5年)

- ◆ WBC日本が14年ぶり優勝
- ◆ 新型コロナウイルス2類⇒5類
- ◆ LGBT法成立
- ◆ 消費税のインボイス制度開始



全日本民医連 70 周年 入選写真

2020年

2021年

2022年

2023年

2024年

2021 (令和3年)

- 7月…グループホームかけはし南館(定員18人)開設
- ◆ 大谷メジャー MVP ◆ 東京五輪原則無観客で開催
- ◆ 新型コロナウイルスワクチン接種開始



ボランティア代表者会議

2022 (令和4年)

- 3月…感染対策実技講習会を開催
- ◆ 改正民法施行、成人年齢18歳に
- ◆ ロッテ佐々木朗希が完全試合
- ◆ 安倍元首相が撃たれ死亡



七夕飾り

2024 (令和6年)

- 5月…ボランティア代表者会議
- ◆ 能登半島地震で震度7
- ◆ 政治資金問題で安倍派議員逮捕
- ◆ 最高裁、旧優生保護法を違憲
- ◆ 日本銀行20年ぶり新紙幣発行
- ◆ 大谷翔平、米大リーグで50-50



感染対策実技講習会



日枝神社の獅子舞

歴代 評議員・理事・監事 役員名簿

期	第 1 期	第 2 期	第 3 期	第 4 期	第 5 期	第 6 期	第 7 期	第 8 期
	1996/1/1	1998/1/1	2000/1/1	2002/1/1	2004/1/1	2006/1/1	2008/1/1	2010/1/1
	1997/12/31	1999/12/31	2001/12/31	2003/12/31	2005/12/31	2007/12/31	2009/12/31	2011/12/31
評 議 員	五十嵐晶子	五十嵐晶子	五十嵐晶子	石井 芳子	阿部 俱子	阿部 富雄	阿部 富雄	阿部 富雄
	石栗 栄市	石栗 栄市	石井 芳子	石栗 栄市	石井 芳子	阿部 俱子	阿部 俱子	阿部 俱子
	今井 和美	今井 和美	石栗 栄市	今井 和美	石栗 栄市	石井 芳子	石井 芳子	五十嵐孝一
	大竹 周次	梅津 芳春	今井 和美	梅津 芳春	石田 健	石崎テ儿子	石崎テ儿子	石井 芳子
	小竹 喜恵	大竹 周次	梅津 芳春	遠藤 實	今井 和美	石田 健	太田 金子	太田 金子
	小田 利吉	小竹 喜恵	大竹 周次	小竹 喜恵	梅津 芳春	遠藤 實	小竹 喜恵	小竹 喜恵
	河東田茂義	小田 利吉	小竹 喜恵	小野 真理	榎本 智子	太田 金子	小野 真理	加藤 太一
	鴻池 雅夫	金丸 文雄	小田 利吉	金内 藤子	遠藤 實	小竹 喜恵	加藤さみ子	黒子 修子
	小林ゆり子	河東田茂義	小野 真理	金丸 文雄	太田 金子	小野 真理	加藤 太一	後藤 捷蔵
	桜井 泰子	鴻池 雅夫	金丸 文雄	河東田茂義	小竹 喜恵	加藤さみ子	黒子 修子	齋藤 久子
	白幡 啓子	小林ゆり子	河東田茂義	黒子 修子	小野 真理	金内 藤子	後藤 捷蔵	佐藤 和子
	鈴木 繁	桜井 泰子	鴻池 雅夫	鴻池 雅夫	金内 藤子	金丸 文雄	齋藤 久子	佐藤 泰示
	高橋 史	白幡 啓子	後藤 捷蔵	後藤 捷蔵	金丸 文雄	黒子 修子	佐藤 和子	佐藤己代治
	船見 幸子	鈴木 繁	小林ゆり子	佐藤己代治	黒子 修子	鴻池 雅夫	佐藤 泰示	佐藤 義久
		高橋 史	桜井 泰子	鈴木 繁	鴻池 雅夫	後藤 捷蔵	佐藤己代治	菅原 直子
		船見 幸子	佐藤己代治	高橋 史	後藤 捷蔵	佐藤 和子	佐藤 義久	菅原 肇
		星 光興	白幡 啓子	成澤 昇	佐藤己代治	佐藤 泰示	菅原 直子	弦木 玲子
			鈴木 繁	船見 幸子	佐藤 義久	佐藤己代治	菅原 肇	成澤 昇
			高橋 史	星 光興	鈴木 繁	佐藤 義久	弦木 玲子	成田 忠一
			船見 幸子	宮野ますみ	高橋 史	高橋 史	成澤 昇	星 光興
			星 光興		富樫 廣士	弦木 玲子	星 光興	本間志賀子
					成澤 昇	富樫 廣士	本間志賀子	丸山 光子
					船見 幸子	成澤 昇	丸山 光子	山中 玲子
					星 光興	船見 幸子		
					星 光興			
期	第 1 期	第 2 期	第 3 期	第 4 期	第 5 期	第 6 期	第 7 期	第 8 期
	1995/8/23	1997/8/23	1999/8/23	2001/8/23	2003/8/29	2005/8/29	2007/8/29	2009/8/29
	1997/8/22	1999/8/22	2001/8/22	2003/8/29	2005/8/29	2007/8/29	2009/8/28	2011/8/28
理 事 長	菅原 實	菅原 實	菅原 實	関 幸助	関 幸助	関 幸助	関 幸助	秋田谷 博
常 務 理 事		福田 晴男	福田 晴男	福田 晴男	福田 晴男	福田 晴男	福田 晴男	鈴木 寿光
法人事務局長						鈴木 寿光	鈴木 寿光	井田 智
理 事	太田 慶治	太田 慶治	金山喜久子	金山喜久子	秋田谷 博	秋田谷 博	秋田谷 博	遠藤 克美
	金山喜久子	金山喜久子	工藤 博司	工藤 博司	金山喜久子	五十嵐孝一	五十嵐孝一	加藤 咲
	工藤 博司	工藤 博司	向後 雄大	向後 雄大	向後 雄大	後藤喜兵衛	後藤喜兵衛	後藤喜兵衛
	向後 雄大	向後 雄大	佐藤 和子	酒井 政二	後藤喜兵衛	齋藤 洋子	齋藤 洋子	齋藤 洋子
	佐藤 和子	佐藤 和子	鈴木 寿光	白幡 啓子	白幡 啓子	白幡 啓子	白幡 啓子	須藤 賢三
	高山 実	高山 実	関 幸助	須藤 賢三	須藤 賢三	須藤 賢三	須藤 賢三	高田 清
	山中 洋	山中 洋	平田 英士	平田 英士	平田 英士	平田 英士	高田 清	芳賀 俊之
					三浦 澄雄	山中 玲子	芳賀 俊之	結城 弥生
					山中 玲子			若林喜久子
監 事	佐竹 完二	佐竹 完二	佐竹 完二	佐竹 完二	佐竹 完二	佐竹 完二	阿部 純士	阿部 純士
	佐藤 正助	遠藤 重明	遠藤 重明	遠藤 重明	遠藤 重明	遠藤 重明	阿部 皇治	阿部 皇治

期	第9期	第10期	第11期	第12期	第13期	第14期	第15期	第16期
	2012/1/1	2014/1/1	2016/1/1	2017/4/1		2021/6/16		2025/6/16
	2013/12/31	2015/12/31	2017/12/31	2021/6/15		2025/6/15		
評 議 員	阿達 真紀	阿部 俱子	阿部 俱子	石田 誠		藍 陽子		秋庭みよ子
	阿部 俱子	石田 誠	石田 誠	伊藤 優梨		五十嵐みづほ		五十嵐みづほ
	石田 誠	太田 金子	太田 金子	粕谷伊佐美		石田 誠		石田 誠
	太田 金子	粕谷伊佐美	粕谷伊佐美	亀井 武雄		伊藤 優梨		加藤 太一
	加藤 太一	加藤 太一	加藤 太一	後藤 捷蔵		後藤 捷蔵		工藤 明子
	後藤 一江	後藤 捷蔵	亀井 武雄	佐藤 明美		佐藤セツ子		小林 美恵
	後藤喜兵衛	齋藤 誠	後藤 捷蔵	佐藤セツ子		佐藤 義久		白幡 信次
	後藤 捷蔵	佐藤 和子	齋藤 誠	佐藤 義久		白幡 信次		成田 忠一
	齋藤 久子	佐藤セツ子	佐藤 和子	白幡 信次		菅原 肇		芳賀 千鶴
	佐藤 和子	佐藤己代治	佐藤セツ子	菅原 肇		成田 忠一		星 光興
	佐藤己代治	佐藤 義久	佐藤 義久	鈴木 勇		芳賀 俊之		本間 裕子
	佐藤 義久	白幡 信次	白幡 信次	高橋みゆき		本間 美佐		松本 新市
	菅原 専治	菅原 肇	菅原 肇	富樫 茂秀		松本 新市		渡辺 友紀
	菅原 肇	弦木 玲子	鈴木 勇	成田 忠一		山中 玲子		渡曾 陽子
	弦木 玲子	富樫 茂秀	高橋みゆき	星 光興		渡辺 友紀		
	土岐 武文	成田 忠一	弦木 玲子	松本 新市				
	成澤 昇	星 光興	富樫 茂秀	三浦 直人				
	成田 忠一	本間志賀子	成田 忠一	山中 玲子				
	星 光興	本間 裕子	星 光興					
	本間志賀子	松本ひろみ	本間 裕子					
	本間 裕子	丸山 光子	丸山 光子					
	松本ひろみ	三浦 直人	三浦 直人					
	丸山 光子	山中 玲子	山中 玲子					
	三浦 直人	結城 弥生						
	山中 玲子	吉田 愛子						
	結城 弥生							
期	第9期	第10期	第11期	第12期	第13期	第14期	第15期	第16期
	2011/8/29	2013/8/29	2015/8/29	2017/6/28	2019/6/18	2021/6/15	2023/6/12	2025/6/16
	2013/8/28	2015/8/28	2017/8/28	2019/6/17	2021/6/14	2023/6/11	2025/6/15	
理 事 長	秋田谷 博	秋田谷 博	秋田谷 博	秋田谷 博	橘 健司	橘 健司	橘 健司	橘 健司
常 務 理 事	鈴木 寿光	鈴木 寿光	鈴木 寿光	井田 智	井田 智	井田 智	井田 智	齋藤 雄一
法 人 事 務 局 長	井田 智	井田 智	井田 智	結城 弥生	結城 弥生	結城 弥生	齋藤 雄一	神田 大輔
理 事	遠藤 克美	遠藤 克美	遠藤 克美	遠藤 克美	五十嵐志保	五十嵐志保	五十嵐志保	井田 智
	加藤 咲	加藤 咲	加藤 咲	橘 健司	遠藤 克美	遠藤 克美	遠藤 克美	五十嵐志保
	須藤 賢三	須藤 賢三	須藤 賢三	友野 研	金丸 裕美	金丸 裕美	加藤 太一	土田 光恵
	高田 清	橘 健司	橘 健司	芳賀 俊之	高橋 亘	齋藤 雄一	神田 大輔	友野 研
	芳賀 俊之	芳賀 俊之	芳賀 俊之	三浦 澄雄	土田 光恵	土田 光恵	土田 光恵	本間 美佐
	結城 弥生	結城 弥生	結城 弥生	渡部 喜一	友野 研	友野 研	友野 研	三浦 澄雄
	若林喜久子	若林喜久子	若林喜久子		芳賀 俊之	三浦 澄雄	三浦 澄雄	山口 隆弘
	渡部 喜一	渡部 喜一	渡部 喜一		三浦 澄雄		山口 隆弘	
監 事	阿部 純士	阿部 純士	阿部 純士	阿部 純士	阿部 純士	五十嵐みどり	五十嵐みどり	五十嵐みどり
	阿部 皇治	阿部 皇治	阿部 皇治	阿部 皇治	阿部 皇治	加藤 浩	加藤 浩	加藤 浩

※内容に誤字・不備等がある場合、ご容赦願います。

主な出来事
30year

東日本大震災

2011年3月15日
宮城野区への物資搬送支援



物資の支援・訪問入浴車支援・職員支援



東日本大震災 支援報告会



療養棟の様子



主な出来事
30year

新型コロナウイルス対応



感染物の対応



コロナ禍での食事

(使い捨て食器)



保健所等からの指導や会議・対応



全国各地からの激励のメッセージ等



主な出来事
30year

活動・旅行

2014原水爆世界大会への参加



2024原水爆世界大会への参加



第46期全日本民医連 人権としての社保セミナー in 熊本(2024年)



ジャンボリー活動



サークル活動 登山



職員旅行 韓国(2011年)



職員旅行 函館(2025年)





創立30周年記念品

安心の

16点セット



編集後記



社会福祉法人山形虹の会が創立30周年を迎え、1996年の介護老人保健施設かけはしの開設から、通所リハビリの営業開始、2000年の介護保険制度開始年に居宅介護支援事業所、グループホームかけはし、山形虹の会訪問入浴サービスの開設、その後、ショートステイかけはし、地域密着型特別養護老人ホームかけはしとショートステイかけはし2号館、更に、2021年にグループホームかけはし南館を開設することができました。

このことから、創立30周年の今年、記念式典や祝賀会など、記念事業の実施を計画したところではありますが、その一環として記念史を発行することとなりました。

山形県知事様、鶴岡市長様をはじめご祝辞をお寄せくださいました関係各位には、この場をお借りして厚くお礼申し上げます。また、当法人関係各位にも、各方面からのご寄稿いただきましたことに対しても、厚くお礼申し上げます。法人設立当初からの様子を振り返ることで、改めて今後の法人経営の礎としていかなければならないと感じたところであります。

編集に関しては、色々と不行き届きの点もあらうかと思いますが、慶事に免じてお許し頂きたいと思ひます。

以上、編集にあたっての御礼と所感を申しあげ、編集後記といたします。

山形虹の会創立30周年記念行事
副実行委員長

齋藤 雄一



創立 30 周年記念行事 実行委員会

実行委員長	本部	井田 智	
副実行委員長	本部	齋藤 雄一	
副実行委員長	本部	竹之木進 雄二	
副実行委員長	管理部	柴田 優子	グループホームかけはし南館
副実行委員長	管理部	奥泉 ひとみ	グループホームかけはし
委員	理事会	山口 隆弘	
委員	友の会	三浦 澄雄	
委員	かけはし互助会	川越 佳子	(事務局兼務)
委員	かけはしジャンボリー	五十嵐 柚衣	介護老人保健施設かけはし
委員	かけはし労働組合	難波 美希	相談室
委員	事務職	佐藤 亜矢子	事務課
委員	管理栄養士	佐藤 寛子	栄養科
委員	看護職	千葉 明美	介護老人保健施設かけはし
委員	介護福祉士	齋藤 まどか	特別養護老人ホームかけはし
委員	理学療法士	阿部 仁美	リハビリ科
委員	介護福祉士	佐藤 辰美	ショートステイかけはし
会計・事務局	本部	川越 佳子	
会計・事務局	本部	渡部 春菜	



発行 社会福祉法人山形虹の会

山形県鶴岡市民田字代家田 100-1

制作・印刷 富士印刷株式会社

2025 年 9 月発行

山形虹の会
ホームページ



山形虹の会
Instagram



